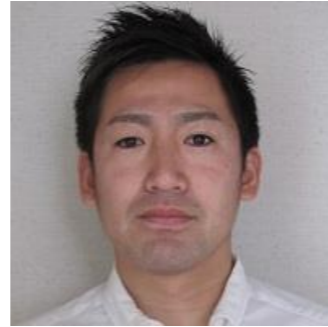


# Salut!! (サリュ!!)

## お久しぶりです！

お久しぶりです！宮岡明央（みやおかあきお）です。覚えていますか？

私は2017年10月10日から21日まで武蔵台小学校で研修をしていました。その後は2018年の2月まで日高塾で先生をやっていました。そのあとも実は台小まつりや持久走大会にも行きました。その時に何人かのお友達とあいさつをしましたね。



## 自己紹介



日高市武蔵台小学校と武蔵台中学校を卒業して、東京の高校と大学に通い、今は青年海外協力隊での活動に向けた準備をしています。実は武蔵台FCフェニックスの出身で、コーチもやっていました。

青年海外協力隊で私は小学校教育隊員という

仕事をします。海外の貧しい国の小学生に図工や体育を教えに行くということです。他にも、日本の文化や様子を伝えたり、学校での行事を考えたり、手洗いうがいなどの保健の大事さを伝えたりする予定です。そして、私はベナンという西アフリカへ行き、様々なことを教える予定です。これからベナンへ行くために様々なお勉強をするために長野県で合宿をして、それから派遣となります。合宿は6月中旬まであり、それまではしばらく、みんなと同じように勉強をします。がんばりましょう！

## このお手紙とは？

これから、台小のみんなへ私の活動を伝えていきたいと思います。そして、少しでもみんなに海外のこと、外国人のこと、ボランティアのことなどを知ってもらいたいです。その中で、みんなには日本という国や今いる場所や環境についても考えてほしいと思っています。よろしくお願いします。

そして、Salut!! (サリュ) とは私が行く国ベナンの言葉、フランス語挨拶です。親しい人との間で使うのでみんなもお友達同士で使ってみてください！！私もまだ使ったことはありません（笑）

## 青年海外協力隊とは？

青年海外協力隊とは独立行政法人国際協力機構（JICA）が開発途上国の要請に基づき、それに見合った経験、知識、技術を持った人を選び、ODA 予算という日本政府の予算によってボランティアを実施する事業のことです。事業は4種類あり、青年海外協力隊とシニアボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニアボランティアがあります。その違いはボランティアを行う国と年齢にあります。青年は20歳から39歳、シニアは40歳から70歳くらいの人たちを対象としています。そして、日系社会と名前に付くボランティアは中南米の日系社会へ行き活動を行うボランティアのことです。

つまり、開発途上国が支援を必要としていることに応じて、支援を行える人材を選び日本を代表して途上国の支援するために活動し、20歳から70歳くらいまで幅広い年代が活躍しています。

また、JICA ボランティアの主な目的としては以下の3つです。

- (1) 開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与
- (2) 異文化社会における相互理解の深化と共生
- (3) ボランティア経験の社会還元

これらを分かりやすく説明すると、開発途上国を豊かにするために現地の人とコミュニケーションを取り、意見を交わしながら活動を進め、帰国後はその経験を社会のために活かしていくということです。青年海外協力隊は途上国の現地に赴き、現状を理解し、現地の人と草の根レベルの活動を進めることです。まずは現地のために現地の人と問題を解決し、持続可能な開発に取り組みます。

## 私の行く国ベナン

私が活動するのはベナン共和国という西アフリカの国です。面積は日本の約3分の1で、人口は日本の約12分の1です。話す言葉はフランス語で、気候は高温多湿なのでごく乾燥して暑く、年間平均気温は27、5℃です。人々は明るく友好的で、争いがなく、治安も良いそうです。しかし、電気・水道が不安定なこと、識字率の低さや貧困、医療の不足など様々な問題を抱えています。少しでも問題を克服させたいです。

